



店頭に並ぶ「甲賀野菜」

市内で生産されるコメは、近江米の中でも高い評価を得ています。豊かな自然の恵みに加え、できるだけ農業や化学肥料に頼らない「環境」こだわり米も付加価値をつけて流通しています。一方、杉谷ナスや鮎河菜など、商品化されて広く市場に出回っている特産野菜もあります。市では、農業全体を振興させるためには、水稲だけでなく野菜づくりも重要と考え、「甲賀野菜」の普及に取り組んでいます。地場でとれる新鮮野菜を生産者と消費者によってブランドへ育てていくことをめざしています。

とれたての新鮮をブランドに



まつもと ひろかず 松本 裕和さん
信楽町 ホウレンソウ栽培

「甲賀野菜」はどこでも通用する
信頼されるブランドに育ってほしいですね

食への関心が強く、いつか農業をやってみたいと考えていたという松本さん。「甲賀野菜」という新たなブランドを、信頼されるものにしていきたいと、こだわりを持って野菜作りに汗を流します。

松本さんのこだわり

松本さんのホウレンソウ作りのこだわりは、農薬類の使用をできるだけ抑えること、朝採れた野菜をその日のうちに販売できるよう卸していることです。

私の野菜のことは皆さんに少しずつ知ってもらえるようになってきましたが、まだ甲賀の野菜についてはよく知られていないと感じます。しかし、「甲賀野菜」というブランドができたことによって、一生懸命作った野菜が甲賀の野菜として広く知ってもらえるチャンスになるのではと思っています。

自分の野菜を売ることはもちろんですが、それだけでなく「甲賀野菜」といえば、安全で、味も間違いないと誰もが知っている、そんなブランドに育ってほしいという願いを込めて、私も誇りを持って野菜を作っています。



朝採れたホウレンソウを新鮮なうちに

地産地消で農業振興を

地産地消とは、地域で生産されたものをその地域で消費することですが、その間の効果は大きなものがあります。たとえば、地域の生産者の顔が見えることで、安心感がちがいます。また、地域内で多く消費されることにより生産拡大につながり、安定的に供給されることにつながります。さらに、高齢化と後継者不足という課題を抱える農業に新しい力が生まれてくることにもなります。

「甲賀野菜」の取り組み

市内では、すでにいくつかの個人や団体が、「甲賀野菜」に取り組みはじめています。それぞれ、栽培する野菜に対し、どのような農業をどれくらい使ったのかなど、生産過程を生産履歴として残し、甲賀ブランドにふさわしいこだわりをもって意欲的に取り組ん

ています。

市でも、こうした農家を支援するために、関係機関と協力し、生産から流通までを支援し、市内全域に生産農家を育成し、市内の皆さんにお買い求めいただくシステムを確立しながら、さらに県内や県外へも「甲賀野菜」を一級品として発信していこうと考えています。

また、学校給食の食材にも安定的に使えるようになれば、子どもたちの食を通じた学びにもつながっていきます。

甲賀野菜は市内大手スーパーやJA直売所、各集落の直売所道の駅などに置かれています。ご家庭の食材に使っていただくことで、ブランド力が大きくなっていきます。

食は命の源です。そして、食を支えるのは農業です。地域の農業の元気は、市民皆さんの元気、そして市全体の元気につながります。

「甲賀野菜」の評判がよくなって、若い人も野菜作りを始めやすくなればいいなと



まさひろ 田村 正弘さん
甲賀町 トマト栽培

田村さんのこだわり

本来青い時期に収穫し、流通の時点で熟するように調整するトマトを赤く熟してから収穫しています。保

存期間は短くなりますが、甘くておいしいトマトになります。

農業は、決して簡単な仕事ではありませんが、自分の作るトマトのこだわりが少しずつ□□ミで評価されてきており、何にも代えがたいやりがいになっていきます。同じようにこだわりの野菜作りを進める人が「甲賀野菜」の名の下にがんばり合い、甲賀の野菜がもっと評価されるようになれば、もっと若い人が野菜作りを始めやすくなるんじゃないかなと思います。

最近、自分の野菜を通じて人とのつながりが強くなってきていると感じます。「甲賀野菜」をみんなで作る、甲賀市の農業が一つの産業として賑わっていくと嬉しいですね。



トマトの手入れをする田村さん

道の駅でも主力商品のひとつ

「甲賀野菜」が並べられる道の駅あいの土山内の販売所には、市内全域から集められた地元産の野菜が揃いっばいに並んでいます。

駅長の西田さんは「これまではお土産感覚でお買い上げされる方が多かったのですが、最近は地元のお客さんも増えてきました。採れたてのいろいろな旬の野菜を目当てに、おいでいただく方も多く、「甲賀野菜」は当駅



「甲賀野菜」は人気商品と、西田駅長

野菜栽培研修会

直売所に野菜を出荷している方および出荷を考えている方を対象に、研修会を開催します。

- 日時・内容／平成24年11月23日(金) 祝
- 日時・内容／平成24年11月23日(金) 祝
- 12時30分～14時 畑作用小型農業機械の実演
- 14時20分～16時 タキイ種苗(株)による新しい品種の紹介
- 16時～16時30分 野菜栽培の実践事例紹介

●場 所／碧水ホールおよびその周辺圃場

申し込み・問い合わせ

農業振興課
☎65・0712
☎63・4592
JAこうか営農指導課
☎62・0588
☎62・9878